

高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業 令和6年度実績

1. 相談支援事業等

(1) 高次脳機能障がい支援相談会

行政書士・社会保険労務士・家族会による相談ブースを設け、自賠責保険の後遺障害認定や障がい年金・労災保険の手続き、家庭内での関わり方といった困りごとの解決への道筋について助言してもらう相談会を開催した。事前予約制で、各相談ブースでの相談時間は30分とした。また、相談方法は、来所面談の他、相談者の希望により、電話やWeb会議システムでも対応した。

対象：当事者、家族、支援者

日時及び参加者数：第1回 令和6年6月25日（火） 13:30～16:00 17名

第2回 令和7年1月28日（火） 13:30～16:00 24名

(2) 高次脳機能障がい者自動車運転評価（モデル）事業

既に自動車運転免許証を取得している高次脳機能障がい者の方が、安全に運転を再開できるかを考えていただくとともに、大阪府公安委員会（運転免許試験場適性試験係適性相談コーナー）に提出するための診断書を取得することを目的とし、医師による診察、神経心理学的検査、自動車学校での運転技能評価などを行った。

平成30年度以降、大阪府・堺市の支援拠点以外でも身近な地域で大阪府公安委員会に提出する診断書（様式7：脳卒中等）の作成ができるよう、医療機関、自動車教習所に協力を打診しており、自動車学校が5か所、地域の協力病院が4か所増えている。

事業参加者数：226名（平成26年9月～令和7年3月31日）

大阪府障がい者自立相談支援センター受付分 73名

堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター受付分 153名

実施状況：参考資料2-1別表 参照

(3) コンサルテーション事業

支援に悩んでいる障がい福祉サービス提供事業所を訪問し、状況や高次脳機能障がいの状態像の整理等を支援者の方と共に行い、今後も事業所で支援をしていくための方策を検討した。

実施件数：18件（平成30年10月～令和7年3月31日）

- ・市町村別の内訳は、大阪市3件、東大阪市1件、八尾市3件、高槻市1件、茨木市1件、吹田市2件、和泉市1件、柏原市1件、大東市1件、高石市1件、枚方市1件、交野市1件、岬町1件
- ・事業所種別の内訳は、就労継続支援A型3件、就労継続支援B型2件、就労移行支援1件、生活訓練3件、生活介護5件、グループホーム4件

(4) 子どもの高次脳機能障がい家族講座・交流会

小児期発症の高次脳機能障がいは成人に比べて少なく、本人をサポートするための情報を得たり、同じ立場の人と出会う機会が少ないと言われているため、情報を入手したり、思いや体験を

共有したりできる機会を提供する目的で、言語聴覚士による基調講演やグループワークを行った。

対象：高次脳機能障がいのある小学生・中学生の家族

日時：令和7年3月11日（火） 10:30～12:30

参加者数：6名

2. 普及啓発

府民に広く普及させるための普及啓発イベントや、損保協会の助成金を利用したリハビリテーション講習会を実施した。また、府民や支援者等がいつでも気軽に知識を習得することができるよう普及啓発用動画を2本制作し、YouTubeで公開した。さらに令和7年度以降に制作する動画について、意見交換会を実施した。

（1）大阪府高次脳機能障がい普及啓発イベント

「高次脳機能障がいを知ろう！！～脳卒中や事故などのあと、もしかすると！？～」

日時：令和6年6月8日（土）10:00～16:00

場所：イオンモール鶴見緑地 3階サンシャインコート

内容：・高次脳機能障がいに関する相談

・啓発リーフレット・うちわ等啓発グッズの配布

・ミニ講座と脳トレ体験

・高次脳機能障がいについてのパネルや事業所作品展示 等

（2）大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会への協力

大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会（一般社団法人日本損害保険協会助成事業）の実行委員会にメンバーとして参画し、医療・福祉などの関連専門職、当事者やその家族と協力して下記講習会を実施した。

日時：令和6年11月23日（土）13:30～16:00

場所：堺市立健康福祉プラザ 3階大研修室

*当日撮影したものを後日YouTube限定配信

内容：高次脳機能障がいについて知らなかった人らに身近な問題として知ってもらえるよう、基礎講座と当事者・家族・支援者の体験談を行った。また、当事者・家族会の情報提供も、冊子にて行った。広報物のデザインには、専門学校生が協力してくれた。

参加者：272名（会場53名 Web219名）

（3）普及啓発用動画制作のための意見交換会

日時：令和6年8月16日（金）15:00～17:00/令和7年1月29日（水）15:00～17:00

場所：大阪府障がい者自立相談支援センター 小会議室

内容：令和5年度～数年かけて計7本の動画を制作。動画は1本あたり5分～10分程度にし、生活場面に即した事例を盛り込むことで、親しみやすい内容にする。

	作成年度	タイトル	内容
①	令和5年度	事故や脳の病気のあと、もしかすると…	症状、高次脳機能障がいの説明、相談窓口の紹介
②	令和5年度	診断してもらうには ～発達障がい・認知症との違い～	診断基準や診断の流れ、他障がいとの共通点や違い
③	令和6年度	家庭内でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあと、もしかすると～	症状、対応方法、当事者・家族会の紹介
④	令和6年度	買い物先、銀行、役所でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあと、もしかすると～	症状、対応方法、福祉サービスの紹介
⑤	令和7年度 (予定)	職場でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあと、もしかすると～	症状、対応方法、就労支援
⑥	令和7年度 (予定)	学校でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあと、もしかすると～	症状、対応方法
⑦	令和8年度 (予定)	当事者・家族からのメッセージ	今後検討

3. 研修

市町村職員や福祉事業所職員、医療機関職員等を対象に、各種研修会を実施した。また R6 年度に新設された高次脳機能障害（者）支援体制加算の算定要件となる研修として、これまで実施してきた「高次脳機能障がい地域支援者養成研修」と「高次脳機能障がい相談支援従事者研修」を統合するかたちで、高次脳機能障がい支援者養成研修を新たに開催した。全研修会を通して、講義についてはオンデマンド配信とし、受講者の都合に合わせて受講してもらえるように工夫をした。

（1）市町村高次脳機能障がい担当職員研修

日 時：令和6年7月18日（木）10:00 ～8月8日（木）16:00

方 法：オンデマンド配信（YouTube 限定配信）

参加者：市町村職員 15 市区町村 28 名

内 容：高次脳機能障がいのある方が窓口に来られた際の対応の工夫、大阪府における失語症者への意思疎通支援について、制度利用、大阪府における取り組みと高次脳機能障がい支援拠点について

（2）高次脳機能障がい支援者養成研修（基礎研修・実践研修）

第1回高次脳機能障がい支援者養成研修（基礎研修・実践研修）

日 時：基礎研修講義 令和6年7月2日（火）10:00～令和6年7月8日（月）17:00

基礎研修演習 令和6年7月12日（金）9:30～16:50

実践研修講義 令和6年7月16日（火）10:00～令和6年7月22日（月）17:00

実践研修演習 令和6年7月30日（火）9:30～17:00

方 法：講義はオンデマンド配信、演習は障がい者自立センター大会議室にて集合形式

参加者：障がい福祉サービス提供事業所職員 30 名（修了証書交付実績）

内 容：国立障害者リハビリテーションセンターの研修パッケージを借り受けて実施。障がい特性の理解や制度等に関する講義と、グループワークを中心とした演習から構成。
基礎研修は講義 9 コマ（計 360 分）と演習 4 コマ（計 360 分）の合計 720 分。
実践研修は講義 10 コマ（計 400 分）と演習 2 コマ（計 360 分）の合計 760 分。

第 2 回高次脳機能障がい支援者養成研修（基礎研修・実践研修）

日 時：基礎研修講義 令和 6 年 11 月 18 日（月）10:00～令和 6 年 11 月 25 日（月）17:00

基礎講義演習 日程① 令和 6 年 12 月 2 日（月）9:30～16:50

日程② 令和 6 年 12 月 9 日（月）9:30～16:50

（日程①か②のどちらかに参加）

実践研修講義 令和 6 年 12 月 10 日（火）10:00～令和 6 年 12 月 17 日（火）17:00

実践講義演習 日程①令和 6 年 12 月 23 日（月）9:30～17:00

日程②令和 6 年 12 月 24 日（火）9:30～17:00

（日程①か②のどちらかに参加）

方 法：講義はオンデマンド配信、演習は大阪急性期・総合医療センター講堂にて集合形式

参加者：障がい福祉サービス提供事業所職員 66 名（修了証書交付実績）

内 容：第 1 回に同じ

（3）医療機関等職員研修会

日 時：令和 7 年 2 月 9 日（日）10:00～12:15

方 法：インターネット会議システム（Zoom）

参加者：医師、セラピスト、ソーシャルワーカー、看護師等 50 名

内 容：高次脳機能障がいの診断と診断書類作成のポイント

参考資料2-1
別表

自動車運転評価(モデル)事業実施状況

*R7年3月末現在

主な 運転目 的	人数	年代	継 続 中	事業中止	医師診断書 結果	公安委員 会の結果	公安委員会における判断 概ね1年後の運転 の有無※	
							運転して いる	運転して いない
仕事	100名	10～30代:11名 40～50代:67名 60～80代:22名	8名	STEP1:4名(本人・家族の申し出による) STEP2:1名(医師の判断による) STEP3:4名(神経心理学的検査の結果による) STEP4:4名(実車評価による)	○:77名 ×:1名 保留:1名	○:77名 ×:1名 保留:1名	20名	6名
通勤	24名	10～30代:4名 40～50代:15名 60～80代:5名	1名	STEP2:1名(本人・家族の申し出による) STEP3:2名(神経心理学的検査の結果による) STEP4:1名(実車評価による)	○:19名	○:19名	5名	0名
日常生活	102名	10～30代:9名 40～50代:57名 60～80代:36名	6名	STEP1:6名(本人・家族の申し出による) STEP2:1名(本人の申し出による) STEP3:2名(神経心理学的検査の結果による) 2名(本人の申し出による) 1名(本人の死亡による) STEP4:17名(実車評価による) 1名(本人の申し出による)	○:66名	○:66名	18名	4名
合計	226名	10～30代:24名 40～50代:139名 60～80代:63名	15名	STEP1:10名 STEP2:3名 STEP3:11名 STEP4:23名	○:162名 ×:1名 保留:1名	○:162名 ×:1名 保留:1名	43名	10名

※大阪府障がい者自立相談支援センターが相談窓口となった事例のみ